

## マーケットの動き（2023年3月27日～3月31日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

年度末で投資家の様子見姿勢が強まる中、欧米の金融システム不安に対する警戒感が和らぎ、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから国内債券は売られる展開となりました。

クレジット市場は、スイス金融大手買収による影響が残るものの、一部銘柄では需要がみられるなど売り買いまちまちとなりました。

## 投資環境見通し（2023年3月）

## 国内長期金利はレンジ内で推移するも、決定会合前には上昇圧力が高まる

国内長期金利は、衆参両院で行われた日銀の次期正副総裁候補者に対する所信聴取を経て、一旦落ち着きを取り戻しています。国内長期金利は当面、日銀の変動許容幅の上限付近でレンジ内で推移するとみられますが、日銀が年内にイーールドカーブ・コントロールを修正するとの見方が広がる中、日銀総裁交代を挟んだ金融政策決定会合の前には上昇圧力が高まるとみえています。

	3月31日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.32	0.04	▲0.17	0.08	0.11
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	374.74	0.13%	1.40%	0.31%	▲1.65%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

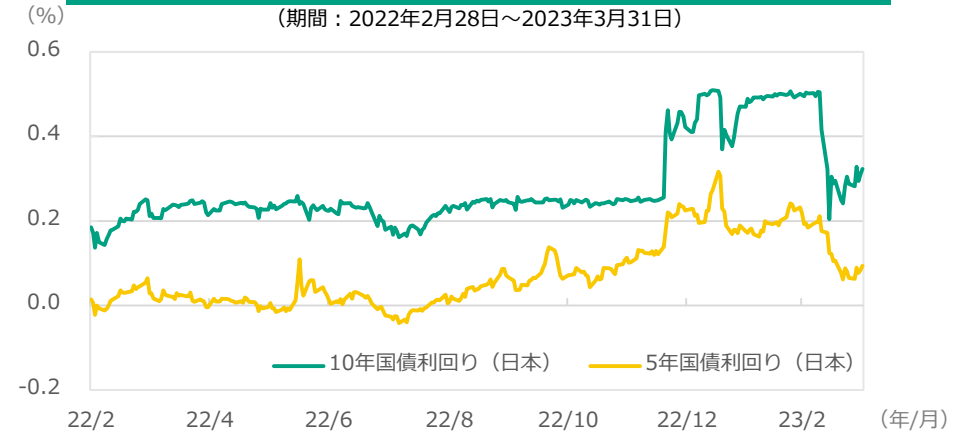
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202303\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202303_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移

（期間：2022年2月28日～2023年3月31日）



## NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2022年2月28日～2023年3月31日）



※2022年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成